

病院の理念 地域とともに世界を視野に
信頼される最善の医療を

基本方針 1.質の高い安全な医療 2.救急医療 3.国内外の医療救援活動
4.地域連携 5.教育・研修・研鑽 6.患者・職員満足度の向上



福岡赤十字病院

日本赤十字社

診療科紹介……①

呼吸器内科

呼吸器内科部長
大内 洋

【スタッフ紹介、特徴】

今年度の呼吸器内科は、大内、白石のスタッフ2名、神宮司、森崎のレジデント2名の計4名で診療に当たっております。



左から 白石、森崎、大内、神宮司

当院呼吸器内科の一番の特徴はチームワークを大切にした診療であり、重症症例では呼吸器内科医全員で診療に関わり、研修医・レジデント・スタッフ全員で協力し合い診療を行っています。当院は救急病院であるため、呼吸器感染症、COPDや間質性肺炎の急性増悪による重症呼吸不全患者さんが多いですが、肺がんに対する化学療法も積極的に行っています。肺がんの診療は九州大学呼吸器科と連携し、臨床試験への積極的な参加を行い、高い診療レベルの維持に努めています。9月から局所麻酔下胸腔鏡検査を導入しました。気管支鏡検査に関しても積極的に新たな技術の導入に力を入れています。

【外来業務】

月、水、木曜日に新患、再来患者の診察を大内、白石で行っています。緊急の診察を要する患者さんは当日のオンコール担当医が対応しております。

【病棟業務】

高齢者の肺炎、肺がんが多く、COPD、気管支喘息、間質性肺炎の患者も増えております。人工呼吸器管理を要する重症患者さんはICU、HCUで集中治療を行っています。

【局所麻酔下胸腔鏡検査】

9月より導入した局所麻酔下胸腔鏡検査をご紹介します。

原因不明の胸膜炎(結核性・がん性・感染症など)の診断、治療として急性膿胸の癒着解除とドレナージ、胸膜癒着術(タルク散布など)などが施行可能です。局所麻酔で行うため、高齢者の方や、基礎疾患を有する患者さん、ADLの悪い患者さんなどにも施行可能です。



局所麻酔下胸腔鏡検査の様子



同検査を行う器材(胸腔鏡)

超急性期血栓溶解療法、血管内治療を含む最新の脳梗塞急性期治療

当院では2001年(平成13年)4月脳血管内科と脳神経外科が合同して脳卒中センターを開設して以来、脳血管障害急性期治療に精力的にあたっています。

2005年(平成17年)10月には発症3時間以内の虚血性脳血管障害に対して遺伝子組み換えプラスミノゲンアクチベーター(rt-PA、アルテプラゼ)、略してt-PA静注による血栓溶解療法が認可され、脳血管障害も"Brain attack(ブレインアタック)"として超急性期に本格的に対応する時代となりました。その後2012年(H24年)9月にはt-PAの適応時間が発症4.5時間以内に延長されました。

さらに最近では発症4.5時間を過ぎても原則発症8時間以内でしたら、次の一手が打てるようになりました。それが血管内治療(カテーテル治療)と呼ばれるもので、血管カテーテルを使って、直接血栓を吸引したり、コイルやステントで絡め取って除去しようというものです。t-PA静注療法の治療適応外、またはt-PA静注療法でも血流再開が得られなかったあるいはt-PAの効果が余り期待できない症例が適応となります。機器としては2010年10月コイル型のMerci retriever、2011年6月には血栓を吸引する型のPenumbra systemが、2014年にはSolitaireとTrevoと言うステント(stent)型の機器が国内で認可されました。実際にt-PA無効例でも大きな効果が得られる場合もあります。

当院では2013年4月に脳血管内治療専門医・指導医である吉岡努医師が脳神経外科に赴任し、精力的に血管内治療を行ってきました。2015年4月には脳血管内科にも専門医である三本木良紀医師が加わり、内科・外科の両科に脳血管内治療専門医が在籍していると言う九州では数少ない強力な体制となりました。

脳卒中が疑われる患者さんを診られたら、真っ先に当院のことを思い浮かべていただけたら幸いです。



緊急脳血管内治療の風景：脳神経外科・吉岡医師(奥)と脳血管内科スタッフ



ステント(Solitaire)によって摘出された血栓



脳血管内治療専門医の脳神経外科・吉岡医師(左端)、脳血管内科・三本木医師(左から2番目)、藤井医師(真ん中)と脳血管内科スタッフ

検査部をご紹介します。以前病理診断科と輸血部は紹介しましたので、今回は検体検査部門及び生理検査部門の紹介をいたします。

検査部は技師35名の体制で運営しており、血液・一般検査部門、生化学・免疫検査部門、細菌検査部門、生理検査部門、そして病理検査部門、輸血検査部門に分かれて日々検査を行っています、特に精度管理には力を入れており、日々の内部精度管理はもちろん外部精度管理にも積極的に参加し、日本臨床検査技師会の精度管理認証施設となっています。また、夜間や日祝日などに来院される患者さんにも日勤帯と変わらない検査を行うため検査技師による24時間体制をとっています。

その他、院内の各種委員会や、感染管理(ICT)などの各種チームにも積極的に参加しチーム医療の一翼を担って活動しています。

【生化学・免疫検査部門】

生化学検査は一日に700～800件の検体を検査しています。検体到着後30分で主要な検査結果は臨床に返せるよう頑張っています。免疫検査でもできるだけ短時間で結果を出し、臨床の要望にも応えられる検査部を目指しています。

【血液・一般検査部門】

血球計算や凝固検査、尿の検査を行っています。一昨年血液腫瘍内科の新設に伴って、新しい検査項目も増えています。

【細菌検査部門】

近年、様々な薬剤耐性菌が問題となっています。日々の検査で、いち早く検出し院内感染を無くするための情報発信に努めています。医師の感染症に対する意識も高まり、血液培養の2セット提出率も90%を超えています。また、最近増加傾向にある結核に対しても簡易のPCR法であるLAMP法を導入し対応しています。

【生理検査部門】

心電図・TMT運動負荷試験・脳波・呼吸機能検査・ABI・SPP・睡眠時無呼吸検査・聴力検査などの検査を行っています。心臓カテーテル検査の心電図や血圧のモニタリングも行い、医師や看護師、放射線技師、臨床工学技士とも連携を持って業務を行っています。夜間もオンコール体制で救急にも対応しています。

また、腹部・心臓・甲状腺・乳腺・下肢動静脈などの超音波検査などを行っています。

特に超音波部門は各分野の認定を持った技師で行っており、「ことわらない」をモットーに日々の検査を行っています。

検査は日々進歩し、新しい技術が生まれています。この進歩に乗り遅れないように情報を収集し、行動的な検査部でありたいと思います。今後ともよろしくお願いします。



自動分析装置 LABOSPECT



検査室

移植外来の紹介

レシピエント移植コーディネーター
看護師 山本 恵美

当院では、慢性腎不全の治療である血液透析、腹膜透析、腎臓移植を行っています。本山医師が当院に赴任して10年の節目を迎え、平成26年には年間15例の生体腎移植と献腎移植術を実施しました。近年では、血液型不適合移植や透析未導入での先行的腎移植も積極的に取り組んでいます。

また、当院には専任の認定レシピエント移植コーディネーターがおり、入院中だけでなく初診時から退院後の外来まで継続的に移植患者さんのケアを担当し、移植腎の長期生着に向けて指導や相談を行っています。

移植外来では、生体腎移植を希望する患者さんや腎提供を考えているドナーの方へ、移植医だけでなく移植コーディネーターも面談を行っています。移植コーディネーターは腎移植を希望する患者さんとその家族の方が安心して移植に臨めるよう、外来から腎移植について患者さんの立場に立った丁寧な説明を行い、移植後もレシピエントの定期外来だけでなく、ドナーの定期フォローアップも行っています。

また当院は献腎移植の認定施設でもあり、移植外来では献腎移植を希望する方の新規登録と登録更新も担当しています。献腎移植術の連絡は突然やってきます。献腎移植を登録されている方の移植外来受診は年に一度の更新時しかありません。そのため移植医と移植コーディネーターは透析施設と密に連携して、患者さんの状態把握に努めています。

当院では、移植医(移植認定医3名)、腎臓内科医(移植認定医1名)、移植コーディネーター、HLA検査技師、薬剤師、管理栄養士がチーム体制でレシピエントとドナーに関わっています。その中で、当院の検査部は日本臓器移植ネットワークの基幹センターとして指定されており、移植に必須な組織適合性検査(HLA検査)を九州全域の移植施設を対象に行っております。そのため、当院では精度の高い結果が素早く得られ成績の向上に寄与しています。近年では、より精密なフローサイトメーター検査も導入し、拒絶反応の予測や治療に役立てています。

この10年で腎移植の安全性も高くなり、生着率もさらに良好となりました。地域の腎臓専門医の先生からも多くの紹介をいただけるようになり、お陰さまで九州でも指折りの腎移植の施設となりつつあります。腎移植に少しでも興味のある患者さんがおられましたら、お気軽に御相談ください。



移植チームのスタッフ



(左から)寺坂医師、山本コーディネーター、本山医師



移植コーディネーターとの面談の様子

移植外来日(術後外来)

診察日:毎週 月・木曜日 8時40分~12時
担当医:本山医師、寺坂医師

移植面談日(移植相談)

診察日:毎週 月・火・木 14時~15時30分(完全予約制)
担当:本山医師、寺坂医師、山本移植コーディネーター
*上記で都合が悪い場合は適宜相談に応じています。移植コーディネーターが対応します。
連絡先:福岡赤十字病院 代表(092-521-1211)
「移植相談希望」とお伝えください。

7月28日

福岡赤十字病院 看・看連携推進意見交換会

連携している近隣の9施設31名(看護師23名 MSW8名)の方々にご参加頂き、当院職員55名(看護師53名 MSW2名)と意見交換会を行いました。当院から連携施設へ転院した患者さんの事例報告をリレー形式で発表し、その後、「医療・看護・介護の継続で大切にしたいこと～対象を生活者として捉える上で大切な情報とは～」をテーマに施設の枠を超えてグループディスカッションを行いました。そのなかで出た課題を解決しながら、今後もより一層の連携強化を図りたいと考えております。



看・看連携意見交換会の様子



地域とともに！

登録医紹介

当院の基本理念である「地域とともに世界を視野に 信頼される最善の医療を」を行うための心強いパートナーとなる登録医の先生方である『医療法人 寺沢病院』をご紹介します。

医療法人 寺沢病院

先生に
インタビュー

当院との地域連携について
どのようにお考えですか？

何かあれば日赤というくらい、いつでもスピーディな対応で助かっており、地域の基幹病院として大変信頼しています。今後も病・病、病・診連携を深め、情報の共有が図り易い関係を築き、患者さんへの医療提供が円滑にできるよう務めていきます。

アピールポイント

当院は、医療スタッフのチームワークがとても良く、そのチームワークで信頼される医療を目指しています。私たちがこの地域に育ってきたこともあり、地域に根差した医療の提供を実施することを心掛けています。

地域の皆さまにメッセージをお願いします。

当院は、地域のかかりつけ医療機関として診療していますが、高度な医療が必要となった場合は、しばしば福岡赤十字病院にお願いしています。また当院は、患者さんの回復に向けた医療として、リハビリに力を入れております。

患者さんが元気になって、地域に戻っていけるように、今後とも地元であるこの地域の役に立って行きたいと考えています。私たちは「優しさと信頼」をモットーとした医療を実施して参りますので安心して受診してください。

特徴

内科系疾患の治療はもちろん、脳血管疾患や運動器疾患のリハビリも強化し在宅復帰に向けてチームで取り組んでいます。また、市内でも数少ない小児のリハビリにも長年取り組んでいます。



左が寺澤正壽院長、右が寺澤健二郎副院長 兄弟で病院を切り盛りしています。



リハビリテーション：患者さんの在宅復帰などに向け、充実したリハビリを実施しています。



エントランス：ホテルのロビーを思わせる受診待合スペース

基本情報

- ◎ 院 長：寺澤 正壽
- ◎ 住 所：福岡市南区市崎1丁目14-11
- ◎ T E L：092-521-1381
- ◎ 診療科目：内科・小児科・リハビリテーション科・循環器内科・消化器内科・神経内科・精神科
- ◎ 休 診 日：日曜・祝日
- ◎ H P：http://www.terasawa-h.jp/

福岡赤十字病院外来診察担当医一覧表

○：新患若しくは再来 ▲：午後再来(予約のみ) ●：(予約のみ) 平成27年10月1日現在

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
総合診療科	澤山 泰典	○	●	▲	▲	○	内科一般・生活習慣病・睡眠時無呼吸症候群	部長
	居原 毅		○	交替制		○		
	柿本 聖樹	○		○				
消化器内科	平川 克哉		○		▲		消化管(食道・胃・大腸)	部長
	工藤 哲司		▲	○				
	藤岡 審	▲				○		
	平田 敬	○				▲		
	原 裕一			▲	○			
腎臓内科	平方 秀樹		▲				腎臓	副院長 部長
	満生 浩司	▲	○	○				
	黒木 裕介			▲	○			
	中川 兼康	○	▲					
	伊豆丸 堅祐	○	▲					
	荒瀬 北斗	▲				○		
糖尿病・代謝内科	吉田 祐子						糖尿病	部長 副部長
	簡 信隆	●			●			
	佐々木 伸浩		○	○	○			
	菊池 洋平	○		●		○		
	川本 徹				●			
内分泌内科	川井 希美		●		●		内分泌・糖尿病	部長
	中川 瑞穂		○	○	○			
循環器内科	目野 宏		○	●	●		循環器	副院長 部長 部長 副部長
	古財 敏之	○				●		
	堺 浩二					○		
	堀谷 俊児		●	○				
	松川 龍一				○			
	本田 修浩					○		
	甲木 雅人			●				
	出口 裕子							
	大内 洋	○			○			
呼吸器内科	白石 祥理	▲		○	▲		呼吸器一般	部長
	神宮司 祐治郎							
	森崎 隆史							
肝臓内科	渡邊 洋		○	○		○	肝疾患一般	部長 副部長
	西澤 新也	●			交替制			
	久能 志津香							
	土屋 直壮	○						
血液・腫瘍内科	谷本 一樹	●	○	交替制		○	血液疾患一般、固形腫瘍の化学療法※水曜日は交替制	部長
	坂本 佳治							
脳血管内科	藤井 健一郎	○		○		○	脳卒中	部長
	三本木 良紀		○					
	山中 圭			▲	交替制			
	坂井 翔建			▲				
膠原病内科	井上 靖	▲	●	○		○	膠原病	部長
	中野 未来			▲				
感染症内科	石丸 敏之		●			○	感染症一般※水曜日は隔週	部長
	中村 啓二				●			
	鎗水 彰			●				
	寺坂 禮治							
	中房 祐司	○	○		○			
外科	本山 健太郎	○	▲		○		一般外科、消化器外科、肝胆脾外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、腹腔鏡下・胸腔鏡下手術、腎移植、腎不全外科、ERCP、PTCD、EST	院長 副院長 部長 部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長 副部長
	小島 雅之				○	○		
	橋爪 健太郎		○		○	○		
	山元 啓文		○		○			
	井上 重隆		○		○			
	家永 淳		○		○	○		
	堤 宏介		○		○			
	寺坂 壮史	○	○		○			
	松田 諒太		○		○			
	安藤 陽平		○		○			
	久野 恭子		○		○			
	非常勤(乳腺)	○						
心臓血管外科	河野 博之		▲				心臓外科、大動脈瘤、血管外科	副院長 部長
	宮本 和幸		○		○			
	馬場 啓徳				▲			
	神西 優樹							
脳神経外科	継 仁	○				○	脳神経外科疾患	部長 部長
	吉岡 努			定期手術日	○			
	平田 陽子		○					
	三木 浩一	●	●		●	●		
	福本 博順	●	●		●	●		

●受付時間 月曜日～金曜日(初診・再診)8:10～11:00

総合診療科	(初診)水曜日のみ内科担当医による交替制です
呼吸器内科	(初診・再診) 月・水・木のみ
心臓血管外科	火・木のみ 8:10～11:00
脳神経外科	(初診・再診) 水曜日は手術日とさせていただきます
皮膚科	(初診) 月 8:10～10:00(火～金は通常通り)
	(再診) 完全予約制
眼科	(初診) 火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(再診) 完全予約制
整形外科	木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)火曜日は手術日とさせていただきます
産婦人科	(初診・再診) 火・木 8:10～10:00(月・水・金は通常通り)
	(初診) 火・木 8:10～10:00(月・水は通常通り)
耳鼻咽喉科	金曜日は紹介患者さんと予約のみとさせていただきます
	金曜日の紹介患者さんの受付は、午前10時までです
精神科	(再診) 完全予約制
	(初診) 月・水のみ(完全予約制)
歯科	(再診) 完全予約制
	(再診) 完全予約制

科別	氏名	月	火	水	木	金	専門分野	備考
皮膚科	竹下 弘道	○	○	○	○	○	一般、尋常性乾癬、アトピー性皮膚炎	副部長
	加来 裕美子	○	○	○	○	○		
眼科	山中 一郎	○	○	○	○	○	糖尿病性網膜症、白内障、緑内障(再来は完全予約制)	部長
	吉山 慶三	○	○	○	○	○		
整形外科	泊 真二	○	定期手術日			○	脊椎・脊髄外科	部長
	伊藤 康正	○			○	○		
	瀬尾 健一	○			○	○		
	由布 竜矢	○			○	○		
	安原 隆寛	○			○	○		
	岡本 重敏	○			○	○		
	太田 昌成	○			○	○		
産婦人科	西田 眞	婦				産	周産期、悪性腫瘍、良性腫瘍、腹腔鏡手術	部長 部長 副部長
	遠城 幸子	婦	婦	産	婦	婦		
	衛藤 貴子	婦	婦	産	婦	産		
	北出 尚子	婦	婦	産	婦	産		
	蜂須賀 正紘	産	産	産	産	産		
	吉富 智幸	産	産	産	産	産		
	松下 知子	産	産	産	産	産		
	末永 壮賢	産	産	産	産	産		
	吉田 紘子	産	産	産	産	産		
	加治 佐和子	産	産	産	産	産		
小児科	原田 達生		○			○	循環器 腎疾患 一般・腎疾患 一般・腎疾患 一般・神経 一般 一般 神経 循環器(第1金曜日午後のみ)	部長 部長 部長 部長 部長 部長 部長 部長 部長
	波多江 健	○		○	○	○		
	檜山 麻衣子	○				○		
	黒木 理恵		○					
	高田 結		○		○			
	尾田 琢也			○	○			
	黒川 麻里			○	○	○		
	非常勤(神経再来)			●				
	非常勤(循環器再来)					※		
耳鼻咽喉科	福島 淳一	○		○			頭頸部外科、耳科手術、鼻内視鏡手術、頭頸部再建手術、一般(再来は完全予約制)	部長 副部長
	賀数 康弘	○	交替制	○	交替制	交替制		
	竹内 寅之進	○		○				
	五島 透	○		○				
形成外科	津田 雅由	○		○	▲		再建外科・外傷・先天性疾患	副部長
泌尿器科	後藤 健		●		●	○	尿路結石、排尿機能障害、尿路性器腫瘍、尿路感染症、腹腔鏡手術	部長 副部長
	柚木 貴和	交替制	●	交替制	○	●		
	小林 武	○	○	○	○	○		
	白水 翼					●		
	溝口 瞳							
精神科	芝田 寿美男	●	●	●	●	●	一般・行動療法・強迫性障害(新患・再来ともに完全予約制)	副部長
	非常勤			●	●	●		
歯科・歯科口腔外科	左坐 春喜	○	○	○	○	○	一般歯科、口腔外科(再来は完全予約制)	部長 副部長
	樺山 哲郎	○	○	○	○	○		
放射線科	盧 徳鉉						検査依頼(CT・MRI・RI等)のみ・電話予約制	部長 副部長
	井上 昭宏							
	米澤 政人							
	上原 隆治							
麻酔科	江口 明						術中管理	部長 部長 副部長
	迎 雅彦							
	堀江 利彰							
	樫文 緑							
	三股 美帆里							
	津田 幸毅							
	名西 紀子							
	松下 亜希							
	福井 康人							
	馬場 麻理子							
	秋吉 瑞美子							
	西川 文							
検査部	中島 豊						検体検査管理	部長
病理診断科	西山 憲一						人体病理一般	部長
救急科	友尻 茂樹						救急(各種中毒疾患含む)	部長
	川原 加苗							
	荒武 憲司							
	皆川 雄郷							
	村瀬 美奈子							
健診部	田中 道子						循環器	部長

急患の方はこの限りではございません。

●診療開始時間……午前8時40分

●平日時間外及び休日急患診療(当直体制)

◎内科系※ ◎外科系※ ◎循環器科 ◎産婦人科

※当直体制のため必ずしも専門医の診療は受けられないことがありますのでご了承願います

◎小児科 平 日(祝日を除く) 17時～19時30分

土曜日(祝日を除く) 13時～19時

[備考] 急患以外の一般の患者さんにつきましては、土、日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診日です

再来は原則予約制です。出張等で休診する場合がありますので、事前に各診療科にお尋ねください。

☎092-521-1211(代表)

患者さんの紹介につきましては地域医療連携室で承ります。
(時間外・土日祝日につきましては夜間受付に切り替えて24時間体制でお受けします)

専用TEL ☎0120-521-993 専用FAX ☎0120-521-992

病院管理者【院長】寺坂 禮治【副院長】平方 秀樹、河野 博之、中房 祐司、目野 宏【事務部長】古澤 智久【看護部長】松永 由紀子

平成27年10月発行(第32号)福岡赤十字病院企画推進課 〒815-8555 福岡市南区大楠3丁目1番1号 TEL092-521-1211 URL http://www.fukuoka-med.jrc.or.jp